

東京新報

ずらかへく急し如がく行を道き遠てふ負を荷き重は生一の人の

興來吟詠

吾人が最も深く愛する吟詠は、愛蔵するものは、英國の詩人、グロウオースの詩、集なり、實に詩伯は自然の崇拜者にして、其の思想は、永久の和力を有す、而して其の思想は、神祕幽玄にして其の和力は、深遠闊大なり、夫れ天眞の美を發揮して吾人に天眞の生命を與ふる者は、實に詩伯グロウオースの詩集なり、亦吾人は英國の詩人、シェリーの名作を愛するものなり、夫れシェリーの詩は、叙情的にして彼の雲雀の歌は、其の最も天才を發揮したるものなり、彼のスコットの湖上の美人は、人口に膾炙せらるゝと雖も、其の詩たるや、形式に縛せられたる所なきにあらざる、バイロンの詩、亦然り、獨りシェリーに對しては、人工に成立せずして、神來の侯に由りて得たるものなり、其の人となるや、温良慈愛にして人品高尚なり、上は偉人君子を慕ひ、下は不幸短命を憐れ、朋友と交るに信實を以てす、其の情は、憤慨を以て溢れ、其力は想像を以て富み、而して天地の眞美を歌へるものなり、次に吾人の知るは、グロウオースの詩なり、グロウオースは、北米第一の詩人にして自然の愛者なり、其の人品は、眞摯にして天眞の才情を有し、詩風は、靜雅優美にして天眞の特色を有す、常に俗界の煩悩を脱して自然の幽靜を愛し、而も春夏秋冬に觀念を高め、情懷清くして米國の思想界に善なる感化を與へたる詩人なり、實に水鳥を一吟すれば胸中自天恩を萬謝し、妙音に感激す、其の風調は、優美を盡し、其の辭句は、精鍊を極む、又死觀は、英文學中不朽の名詩にして、天地の幽去を覺らしめ、且つ人生の無常を知らしむ、是れ實にグロウオースの傑作と云ふべし、次に吾人は、詩伯シェリーの詩に對して一言せん、實にシェリーの一生は、幸福無事に終り、奇なく又怪なく、眞に大器晩成の人情詩人なり、夫れ詩伯シェリーの詩は、音調絶妙にして、機巧華麗なり、雖もウオグロウオースの詩の如く、深遠の思想なく、又神祕の幽玄なし、故に一度愛吟すれば二度厭味せんと欲する念起らざる也、然れども天下一般の稱讃を得て、喝采し嘉許せられたるは、是れ全く深遠の思想なく、又神祕の幽玄なく、平易簡明にして、童蒙婦女子にも了解せらるゝ所以なり、

天下の文士は、英文學とて、一言は、シェキスピーヤ、ミルトンを主明す、無難英文學研究者は、シェキスピーヤも熟讀せざるべからず、又ミルトンも厭味せざるべからず、一は人情の奥義を説き、一は化物の物語に過ぎざる也、故に吾人は、シェキスピーヤの愛讀者にもあらず、又ミルトンの愛讀者にもあらず、唯ミルトンのリリクス一篇を愛吟するのみ、

特に吾人の愛吟詩は、シェリーの悲歌なり、是れ、

名主の新五郎が、百姓一同に宗五郎を助け

てくれと云ふと、百姓は、百一宜しうござり

新五郎は、何うでも宜い、宗五郎、

さい、助けられたい、後の始末は、斯う云ふ

工合に、俺が、俺が、俺が、俺が、俺が、俺が、

から、俺が、俺が、俺が、俺が、俺が、俺が、

家へ、俺が、俺が、俺が、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、



佐倉宗吾

(九十三) 眞龍齋員水講演

名主の新五郎が、百姓一同に宗五郎を助け

てくれと云ふと、百姓は、百一宜しうござり

新五郎は、何うでも宜い、宗五郎、

さい、助けられたい、後の始末は、斯う云ふ

工合に、俺が、俺が、俺が、俺が、俺が、俺が、

から、俺が、俺が、俺が、俺が、俺が、俺が、

家へ、俺が、俺が、俺が、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

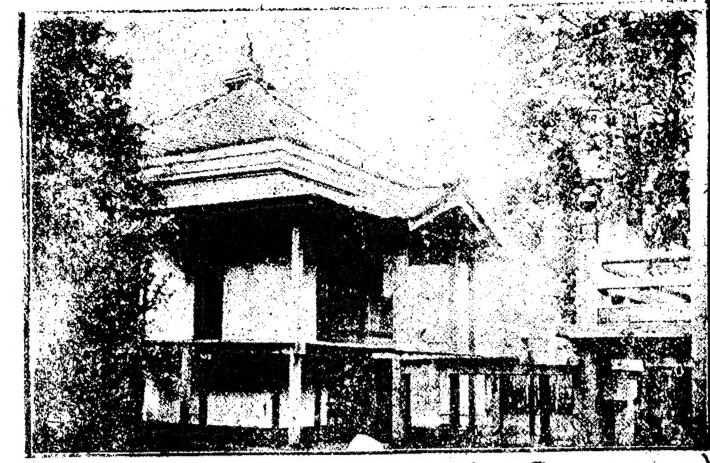
打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

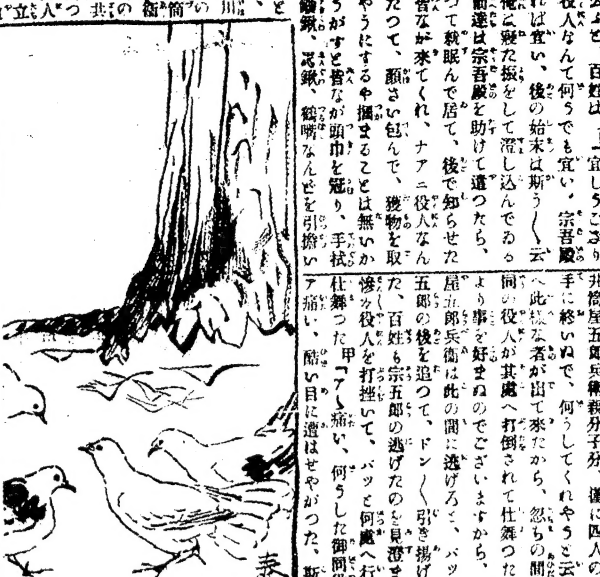
打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、

打撃つたて、顔の紅い、俺が、俺が、俺が、



(院奥堂雲吾慈)



生

朝鮮紳士録

本書には、統監府軍司令部師團司令部各
理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各
商業會議所及韓國政府中央地方諸官衙
各國領事館職員録を併載
京城理事廳認可

豫約募集
本書には、統監府軍司令部師團司令部各
理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各
商業會議所及韓國政府中央地方諸官衙
各國領事館職員録を併載
京城理事廳認可

豫約募集
本書には、統監府軍司令部師團司令部各
理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各
商業會議所及韓國政府中央地方諸官衙
各國領事館職員録を併載
京城理事廳認可

豫約募集
本書には、統監府軍司令部師團司令部各
理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各
商業會議所及韓國政府中央地方諸官衙
各國領事館職員録を併載
京城理事廳認可

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

本紳士録(交詢社)には、韓國各地在住
の韓紳、清紳、英紳、佛紳、獨紳、其
他紳士の全名を網羅致候へば、公私實務者の
からざる要書に有之候

仁川穀物協會及び紳商會社、協議の結果本月初旬より同地幣制組合の應信應に對し其貨物と交換をなし居りしが過日同間其幣制破烈し昨日仁川斗場場に於て五

●東拓社員の出張
東拓會社調査課長星野龍太郎及び武見在日所
書記は、露土内務省の爲め三十日出張、數事方
面へ出張すべしと

密賣婦の技能とも言ふ可きは、摘み喰ひと
屈なり、新町藝者は無作法と入贅と八八
檢査者は質ひ喰ひと酒飲みと
若し夫れ遊藝に於ける中、檢査者と來ては
老練な話ならんや、寧ろ比喩的新町藝者に於
其優る所あるを見る、而して氣力の最も
旺盛なるは密賣婦にして、次は新町藝者、中
檢査者は還所に至つて無氣力也也し
也、新町藝者や密賣婦は口を揃へて中檢
査者の無氣力を笑ふ事甚だし、此は中檢開設
者の無氣力として藝者芝居を開帳せんとせしも拘
束様の文之助不在の爲め爲す計はさるに因

●警部へ更迭
南部警察署松浦下警部は、
同署警務課長として、
其の任に就いた。
●明石憲兵隊長長補任
明石憲兵隊長は来月一日東京出發担任する旨其筋へ電報あり

提進中傷無用のこと

平民文庫

小便も亦断り申候

●鶏卵を割つたまゝ具表裏一面に殻に残つて蛋白となす。付け別に朝鮮海苔を揉んで初々にして作の卵の殻に付けて御覽なさい。度少なき鳥の糞が出来ます夫れへ源氏豆を入れたる鶏の卵が巢に這入つて居る様で更に之れを益殺の枝にトヤラシて置く。顔白いものが出来る。(寶藏生) ●平民文庫編へ

たもと
 朴内閣大臣の格、
 参議院の各委員は、皇及監獄、
 九月午後六時花月に招待し晚餐會を開けり
 ●獨逸總領事の訪問
 獨逸總領事クリエ
 日掲げた投書も強ち留屋自身で投書したものと云ふ譯けではないのです(係、一口囁きとつ、三十五になる男十五の娘に結婚を申込んだが娘の父「歳が餘り不格合です貴子の半分でありませんから」男「デハモード」の半分でます」自分分乍ら拙い(稽古仕度生五年待ちます」
 ●天氣豫報 自廿九日午後六時
 南の風晴後曇
 廿八日 最高溫度 七〇・二
 最低溫度 (華氏) 五一・三
 廣告

京城曙町(電話二七番)
銃監府御用
宮内府御用
軸物表装
金銀屏風
顔面襷
壁張り
障子張り

澤田牛磨君
 統監府書記官にして韓
 内部地方局長たる君は
 名手ナ。君と云ふ君は
 年々チ。君と云ふ君は
 て職を警視廳ニ充てし例の燒討事件に關し
 持つた一人で體格矮小な割合に膽は
 さいといふ云々評判ドツコイ其評判よりも
 聞の美事と云ふ評判の方がより以上高
 と云ふことだ處が君に限つて世間並の
 の如く美人の令聞に忠義立をして五月
 〇思はるゝ儼々野暮亭ではない、却つ
 令聞に留守居をさして大に威嚴を示さ
 だ、さればこそ君は慶々樓上の人とな
 (但し單獨ニ云ふは)一度彼樓上の
 大主たるはナレバ、又前衛

國、實、係、大、命、男、蠟、方、た

の貨物係、犯人五名は、過日來仁川内洞派出所に留置し、取調へ居たるが、昨日右七名は、裁所引渡し送せられたり

●白糸拍子の御灸 新町大樹地抱へ白糸拍子事並木いちぢは去る十四日午後十一時五十分認可を受けずして外出し、大町に住居せる某色男に逢はんと往路しして居る處を惜くや、査公の爲め見付られて告發となりしかが、昨日南部署に於て科料金一圓に處せらる

●小便科五十錢 本町七丁目六十八番戸左衛門近藤直太郎は、二十六日午後二時二十分、鳴樂町二丁目街路に於て放尿なしたる科により、昨日南部署に於て科料金五十圓に處せらる

之助が捐附し居た者なる事遠近に至つて
 始めて驚見す、中檢査者の無爲無力又容
 するに餘りあり
 然れども中檢査者は宿屋官舎の部屋廻り
 には頗る妙を得居れり而も彼等には各得意
 あり新町檢査者は密査間町三日目の裏に廻
 情夫と密査し密査婦は大きな尻を振り廻
 しつゝ晝夜の別なく市中玉る處の温泉に相
 手を獲ひず引張り込みて共に其醜行を演ず
 る又甚だじきなり
 密査婦は一種言ふ可らざる勇氣粉々而も
 密容に染同臭傳染して容易に去らずと此
 點に至つては流行り密容なり其生活に於て
 住居に於て言ふを要せず、されば新町檢査
 は白粉の臭りに中檢査者に至つては密容者

僕の病が愈々大事件に成たさうに面白く
 探検隊長 ▲此の頃の様に風が多時には
 激水をよくして貰ひ度い(衛生家) ▲大和町
 一丁目の或る家で毎晩バチチチとて屑
 んね(通行人) ▲オイ○○君、然う當てこす
 りを云つたつて笑ひなぐもなまい、へへへ
 (露の猫) ▲小僧君は相續らず健在でれ目出
 度う併し餘計なことを云ふの以少し控へた
 ら宜しからう(食度生) ▲キ恐れ入つた併し
 病氣故には死ぬ人もある、私には此の病氣
 なる爲めに故國にも歸れないです此れさへ
 無ければ故國へ歸つて若衆で居られさるゝ
 一丁目の或る家で毎晩バチチチとて屑
 んね(通行人) ▲オイ○○君、然う當てこす
 りを云つたつて笑ひなぐもなまい、へへへ

自轉車大妥算

角商會代理
前川自轉車店
京城南大馬路

急告

今般醫院院慈惠部を設け、實力少なき患者、
名を限り入院治療の需に應ず

但し入院料一日八十錢を越へず
蒲山老松町電話二八番

上田病院慈惠部

石川泰具店

夏物大賣出し

廿八日より六月廿日迄大割引販賣仕候諸
々御購求りませう
衣服類、洋物雜貨、文具、履物類
其他何でもありませう
龍山元町三丁目銀行兩隣

分寺岡商店

●氣候變化乳牛

●牛乳良消毒

◆韓國畜産株式會社

在大門外(電話八八番)

作れぬ玉の類に人の眼を引くもの、死人に對して經を讀むが如きは末の也、況んや金錢の名譽によりて讀むべきをハシヨツたり永代經に**普通**の**特別**の**區別**を付て置く計りか、**メノメ**と耻かしくもなく人に目の客間へなご張り出されたもの、虚榮にれる人の子の**弱點**を矯正せんとは思ひもせず、却て夫れを**利用**して**不**の**財**を貪らんとす言部遊戯の處處ながら、**經合**黄金を山と積み高僧智識にねね申して一切經を阿高過讀み上げたとて

「ゲダールは前夜のコミ嬢さ」と扇を以て机を叩けば機上の愛も風情に落ちると云ふ有様、並居る藝妓仲村面々は只節廻しの巧妙なるに驚いてカ添田さんは吉川虎丸の弟子でもあるに云ふ位だと、處が君は韓國國劇役人となつて以來韓人との交際上浪生とも遊ぶをうだが此女が生きてゐるの仲のからまで教込む積りでオット大に言はれぬ（投稿歓迎）

大 小 共 店 の ま
大 小 共 店 の ま

番月、漁物商日下部喜太郎(こ)は去る二十六日自宅前街路に空樽を放置し交通の妨害を爲したる處に依り昨日科料金三十錢を申渡されたり

●自轉車乘の盗犯 南大門通二丁目牧野方店員長安太郎(こ)は號鈴を有せる自轉車を乗用せし爲め昨日三十錢の科料に處せられたり

●藝妓と密賣春婦觀 花柳子投

○凡そ殖民地務邊に先導者は實に密賣竊賊にありと或は然らず常地に於ても其最も多きは即ち彼等にして今や至る隅にも此等の多寡異なるはなほなし而して彼れ密賣婦の多くは水吞百姓娘の突出にして其容色に於て最も劣れり所謂素粧の拾ひ集めのみ

●密習婦は其末路多ク土方の喚にして他は失身の不具者 新町藝者は仲居飲食店又は口入屋の喚 中檢藝者は待合又は置屋の女將と大抵相場は決つたもの最モ伊藤先生將と五十年も生存して今の如ク國政に參與せん今檢藝者中或は〇〇に任用する者無きを保せずとは洒れ

●江川萬吉の足藝 我國足藝の開祖三代目江川萬吉は昨年、當地に來りて大好評を博したるが今又渡航し下、明治町、東洋軒、植會、社館の空地に於て興行中なるが彼れ藝が技藝に世既に定評あれば今更茲に記せず尙は今回は韓人側にも非常に歡迎せられ連

演藝界

京大相模常設館の開設式當日は、賓客馳集を
一丁行らんか、常と梅は、寝念ふか梅に
駒と、太刀は無論駒に、西の海と國見は西の
海に、何れも勝族のゐるのを認める（角）
力狂、〓京城市中の葬式屋で一番親切なのは京城
は左文字屋、廿二川屋だ不親切なのは京城
葬具社と云ふ事が地獄よりの通信、地獄獄
番通信員、〓天聖教の源が如何で有うとも
現在の教旨が立派なら差支へないではない
か、一体今の宗教を迷信する奴は各自その宗
祖を大變惻怛な神聖な者の機に考へて居る
か馬鹿だ世界で一宗の開祖と仰がれて居る
教祖に一人として其所に轍しまない又商
呑まね奴が在つたか女に對して中山何某

油物表装
金銀屏風
顔面練衣
張紙大千濕

清香堂

永隆閣所藏
交書後
山崎半江氏

醫術開業

左の處に移轉し公務事す
(但し正午迄)

南山町二丁目
植村病院跡
（入院隨意）

松岡醫院

電話六七五番

明治町二丁目七十五番戶
辯護士 岩田 仙宗
電話三五四番

廣告

の餘暇を以て診療に従

左々木四方志

行かぬものが三等でも一等でも落
着先は決まつて居る、如斯き
坊主のワナに罹つて詰らぬ賢い薬
御注意申す、此の位で止めないと法律
から云ふ恐ろしい學問なされた方式様に
に差務だと脅されてはと一先づ茲に筆
●喧嘩は兩成敗 本町一丁目裏
口入業大倉長蔵 には豫て同地飲食店
梅次郎 方へ去る五月一日柴田かは
云へる女を酌婦に周旋し其前借金の内
五圓の現金あるを以て 壓脅を爲し

●眼病藥の大王は

●新町だより
相繼ぐ不景氣
一昨夜の登樓客は八十五人此費消高條
四百二十九圓八十四錢なり此内第一
店の十五名と七十圓三十錢が最高にし
終第一位なりし春春樓は近來更に振は
一昨日は定期登樓なりしが前より引
入院せしは皆春の式部第一樓の園枝南
若松、南山の南菜、小福、山遊の千代
六名にして休業通院が大橋の千代鶴、
松登の葉吉、~~高橋~~の忍、山遊の房子、
二十の六名なり其外休業せざるも病氣に罹
たる君は二十六名なりと

かに
 本
 始
 松の
 小蜂
 愛吉
 通
 り、新町藝妓の多くは下女のみなり長屋に居るの喲的なり、然し其格別に於ては此社會中確かに優物なり
 假裝とせる密探の美人は追かに中檢藝妓なる多し此社會に於ては先以て聊か見るに足るものなきにしも非ざるなり
 密探には比格的從順なるもの多く、新町藝妓にはスチ者多し、而して中檢藝妓にはヤチヤ者多しなり
 白晝細網一筋にて市中を徘徊する者は多し、密探婦にして疑者の儘にダテ着姿で町内を飛び廻るは新町藝妓なり、此點に至つては流石に中檢藝妓に於て優る所あり

房發賣の富川氏製劑の旨

「醫師 田宮一行本日の誓ひは『五月晴』
にして役柄左の如し
辨護士黒木松村馬丁元童(吉井)花岡時
夫(大山)神夫(藤原)澄山新造(篠田)元光
父權三(阿部)夫人(山)高田(源漢)中
村(田宮)愛妻松、元造姪若(堀江)花園卓
夫(田宮)

▲佳し。あらぬ奴
醫師 「彼奴はホントに怪しからぬ奴だ
よ、一昨夜招んで御馳走したら、飲む
は、食ふはもう、本營の牛飲馬食さ
其の上に君、山の爲めに病氣に成つた
のを外の醫師に行つて診て貰つて居る
ぢやないか。

眞珠白龍丹に限る七十

女は倅いもので身は不文、一賤婦であ
 り、行はれは正しく又其の教は無學な女
 拵へた宗教として比較的低輩なもので
 後世に満仰さるゝに至つては誠に感ず
 る事ではないか(公平生) ▲元天理教徒君
 以て如何となす一失語はさる可らずだ
 ら其處で重ねて注文する可成原文にね係
 ▲昨日の常欄に於て同業者中に好意を回
 すものあることを知り得ました感謝に堪
 ません(質屋總代) ▲一寸た願ひ申します

二種の眼病全愈せざる

ヤッポロ
 ビール



者なし試用の分に限り

齒科治療

女子見習生募集

表見師

明治

町一丁目
電話八百一十二番
（元本町座跡）

美術書畫
襖壁天井張
京城盡町一丁目
桂萬吉

本町六丁目
ドクトル
中村安子
（敬もは横町）

要細面談

り定價の半額に割引仕

-487-

100

朝日石炭製造所

社會主義之
電話二二九番

太物洋反
力ヤ蒲團
◎あ
秋山商店

官廳簿記學教科書
代五
京城謠町二の三七
統監邸下
京城簿記學校
錢

組

五六

間店

九樓
社告
店
正午時出
前五時出
正午出

三太郎

立神九

御乘船之際ハ税關渡月
送迎船ニテ荷役可申候送迎
船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ

●新開興

▲一牧金一鐘 ▲一ヶ月掛金掛
前金書圖 ▲六ヶ月金貳圓▲

●通合興

▲五兩掛半十九字陸一行一箇
▲五兩掛半十九字陸一行一箇